資料５

「令和２年度第２回企画・調査部会資料」における介護保険専門分科会委員からのご意見

〇感染症対策について

・新型コロナウィルス感染症は生活習慣病をもっている人が重症化しやすいと言われており、生活習慣病は要介護状態をひきおこす第1位の原因、脳血管障害をひきおこす原因ともなる。これを機に生活習慣病をもった高齢者に対する個々の健康施策に力を入れるのが必要ではないか。

・新型コロナウィルス感染症のワクチンや特効薬ができるまでは時間がかかることから、基本理念に「感染症（コロナ）対策」の項目をつくり、感染予防と重症化防止を柱とした社会的ＰＣＲ検査の充実などの安全・安心の理念を明記すべき。

・神戸市では、まず特別養護老人ホームの新規入居者及び介護職員への社会的ＰＣＲ検査の実施を決めた。コロナ感染症は、世界的にみても高齢者施設でのクラスターが多く発生し、さらに重症化率も高いので、感染症対策として、在宅・施設を問わず介護職員への社会的なＰＣＲ検査を行い、無症状者の早期発見と感染拡大防止を行うことが重要になっている。また、国の考えでは、高齢者や基礎疾患をもっている人へのＰＣＲ検査も実施する方向であることから、要介護者へのＰＣＲ検査の実施を明記すべき。

〇フレイル予防について

・フレイル予防に対して、近年「eスポーツ」の活用が注目を集めつつある。Withコロナの中、集まることが難しくなる時代に「eスポーツ」を活動しながら高齢者の方々が世界中の人とコミュニケーションがはかれる取組みについて、今後検討していく必要があると考える。eスポーツが認知症予防となるエビデンスは乏しいが、デジタル時代に向けて導入していくことは一考すべき分野であると考える。

〇災害対策

・昨今の台風をはじめとした頻発する災害対策についても、具体的な明記が必要ではないか。